

中野市の魅力発信と知名度向上を考える 高校生グループインタビュー結果の詳細

実施概要

調査目的	現在の中野市に対する気持ちや、中野市の市名変更について、どのように感じているかを聴取する。 本調査で得られたデータは、今後予定されている意見交換会などに資する。
調査手法	フォーカスグループインタビュー
実施日時	2019年2月7日（木） ■グループ1 13：00～14：30 長野県中野西高等学校 7名 ■グループ2 15：30～17：00 長野県中野立志館高等学校 5名
実施場所	中野市役所会議室41
実施機関	立正大学文学部 浅岡研究室、株式会社 アイディエーション

参加者

グループ1 中野西高等学校

学年	性別	人数
1年生	男子	2名
	女子	2名
2年生	男子	1名
	女子	2名
合計		7名

グループ2 中野立志館高等学校

学年	性別	人数
1年生	男子	0名
	女子	3名
2年生	男子	2名
	女子	0名
合計		5名

インタビュー結果の詳細

中野市居住継続意向

参加した高校生の希望する進路は以下の通り。
特定の進路の生徒に絞らず、中野市について考えてもらった。

中野市に戻る予定

- 家業を継ぐために、一度他の都市で弟子入りして10年ほど修行してから、戻ってくる予定。
- 県外に進学しようとは思っているが、中野市に慣れているし、中野市がいいなと思っているので、いつかは帰って来ようと思っている。



中野市を出る予定

- 観光の仕事をしたいが、中野市には観光の仕事がないため。



中野市で就職予定

- 就職して地元で働こうかなと思っている。



進路は未定



高校卒業後の
選択に
迷っている

- 中野市から大学に通うか、長野市の親せきの家に下宿するか悩んでいる。
- 大学に進学するなら東京、高校を卒業して家業を継ぐなら中野、就職するなら長野。
- 今は2校で迷っている。県内の学校なら今の家から通うが、新潟の学校なら新潟に住む。

進学後の
就職先に
迷っている

- 県内の短大に行って栄養士の資格を取り、そのあとは未定。
- 県外の国立大学に行きたいと思っている。
- 一度中野からでるが、街が栄えたら帰ってこようと思っている。
- 戻ってきても、働くところがないかもしれない。
- 大きな公園などができて、他の人も楽しめる施設があれば帰ってくるかもしれない。

中野市外在住者とのコミュニケーション

中野市が話題に上がることはあまりなく、中野市外に住んでいるクラスメートと話す程度。

中野市について話す相手

- 中野市外に住んでいるクラスメート
- 親せき

※SNSで知らない人とコミュニケーションをとることはない。

中野市に関する話題

中野市が他の市より劣っています、みたいな感じ。

他の市より中野市はそこまで栄えているわけではないので、必然的に他の市のことを「いいよね」とか「そういうお店があるんだ」みたいな感じで話す。

キノコがいっぱいあるよね。

『話さない。そもそもなんもない。話せることはない。』
『なんもない。だからそういう話をしないし、この辺って長野ぐらいしかあるものがないから。』
とのコメントもあった。

中野市外在住者に対する居住地の説明

中野市に住んでいることを説明する際には、相手には関係なく、市名を言う人も、言わない人もそれぞれ。ただ、どちらの表現を使っているとしても、『中野市は分からないだろう』と思いながら説明している様子。

県内の人でも県外の人でも同じ

「中野市」と言う

「長野県の中野市に住んでいるよ」と言う。
「中野に住んでいる」と言うと、東京の中野区と間違われるので「長野県の」とつける。

中野市と言っても、わかってこない人はわかってこない。でも、取りあえずは言う。

中野市と言って見て、
伝わらなければ長野市の上と言う。

中野市と言って見て、伝わらなければ
Googleマップを開いて「このへん」と言う。

「中野市」とは言わない

長野県の上のほう。中野市と言ったところで「あそこ」となるわけでもなく、「うん」ぐらいで済んじゃうので、「北のほうだよ」という感じ。

長野県の上のほうとか。
全部この辺は一緒なので、上のほうと言う。

中野と言っても、相手は絶対わからないだろうと思っている。

中野市への愛着

愛着を感じている人も、感じていない人も、共通して『人に推せるものがない』と感じている。
愛着を感じている理由としては『住みやすさ』と『自然が多いこと』。

愛着を感じる

愛着を感じない

慣れているし落ち着く

- 慣れているし落ち着くが、何も無い。遊ぶところが少ない。カラオケから追い出されると、他に行くところがない。
- 育ちのほとんどが中野なので、他のところと比べて愛着は高い。

住みやすい

- 推せるものはないが、生まれたところというのあって長年住んでいるから自分的には愛着は持っている。
- 人にすすめるところがそんなにあるわけじゃないが、都会過ぎず、田舎過ぎず、住みやすいなと思っている。
- 人も多すぎない。
- 住みやすい。平和だな～みたいな。ガヤガヤしないし、自然が多い。山とかがあって住みやすい。

悪くは思っていない

- 先輩方と同じで出身地ということもあって、そんなには悪く思わないが、このまま住み続けるかなと思ったらそうでもない。
- バラ祭りが年々しょぼくなっている。人口減少で土地が過疎化しているから、人も年々来なくなった。みんなそんなに興味がないし、高齢化が進んでいるんだと思う。私もそんなに興味があるわけではない。
- 愛着を持って住んではいけない。
- 親の東京の実家と比べると空気もおいしいとは思いますが、非常に愛着を感じるかというと、そうでもない。

自然が減っていることを実感

- 生まれ育った場所なので、愛着度は10点中3点だけど、好きな緑がどんどん壊されていくと愛着が1点になってしまう。都会にするのはいいけど、自然の面でも考えてもらわないとちょっと嫌になる。家の近所が工場で、夜中はほんとうにうるさい。

自然が好き

- もともと住んでいる場所だからというのもあるけど、家の周りの自然がすごく好きで、だから愛着はわいている。

諏訪・松本のほうが良いと思う

- 小さい頃に諏訪、松本に住んでいて、そっちのほうが良かったと思う。中野市は全然お店がない。

中野市をすすめたいと思うか

他の自治体と比較すると『“いちばん”になれるものがなく、薦められるものがない』とのコメントが目立つ。また、『街が若者向きではないため、同世代に薦められるものがない』との発言もあった。

おすすめ
したい

すすめた
くない

まだPRできていない良さがある

- 今までボランティア活動に参加してきて、バラ祭りとか、おごっソフェアをもうちょっと有名にして広めていきたいなというのと、久石譲さんの出身地なのに、まだ全然有名じゃないから、ジブリとかに関する記念館を造るのもいいのかなと思う。そういうのがあればおすすめしたいという感じ。

住みやすいが認知度が低い

- 住みやすいというのと、中野市と言っても知らない人が多いので知ってもらえたらいいなと思った。

他の市町村と比べるとすすめられない

- 隣の小布施町のほうが有名なものも多い。そういう面で考えるとすすめられないかなと思う。栗とかが有名で、温泉もある。
- 遊ぶところが少ないし、雪が多くてお年寄りは大変。
- 「バラの街中野」と書いてあるけど、バラはそんなにない？と思う。バラ祭りで推している割には、見に来る人も地元の人たちだけ。そうしたら須坂の臥竜公園にお花見に行ったほうがいいんじゃないかと思うし、行っている人が多い。そう考えるとあまりおすすめできないかな。
- 他の市町村と比較したときに中野市をすすめる、推せるものがないかな。空気もおいしいし良い点がないわけではないが、他県の人にすすめるとなるとちょっと気が引ける。

若者向きではない

- おじいちゃん、おばあちゃんならこういう街はいいかもしれないが、自分の年代だとやることがないからすすめたくない。
- 中野市は除雪が結構下手。
- 歩道も危ないところについていなかったりして、自分的には住みにくい。

工場が目立つ街をすすめられない

- 空気がきれいと思われているかもしれないが、工場地帯に住んでいる身からしたら、空気が汚くて出ていきたいと思っている。夏も窓を開けておとがくずのニオイばかり。交通の面でもトラックの出入りが多くなるので危ない。中野市は撮りたいところに必ず工場がある環境。景観を汚されたくない。建てる場所は建てて、建てないところは建てないとか、ちゃんとした街づくりしてほしいし、使っていない土地があるのなら、公園なり何なり、工場以外で景観をよくしてPRできるような施設を造ったほうが良いと思う。

食べ物はすすめられる

- 「信州つけ焼きそば」は、いろんな店舗でアレンジして出しているところはいいなと思った。他にも水がきれいだからおそばが結構おいしい。食べ物の関係はすごくおいしい。
- リンゴがおいしい。シナノゴールドやシナノスイートがある。リンゴはすすめられるかな。

シニア向け

- 中野だと畑が多いとか自然が多いから、ご高齢の人も住みやすいのかなと思う。高齢の人には少しおすすめしたいと思うくらい。

中野市の魅力、自慢できるところ

中野市の名物とを感じるものを聴取したところ、特産品や出身者等、複数あがったものの、『あっちこちに足を突っ込んで、これというものがない』との発言が目立った。

きれいな空気



- ・東京の親せきから空気がおいしいと言われる。
- ・工場地帯に住んでいると空気は汚い。

ブドウやリンゴ



- ・がんばっているけど、リンゴというと全国の人には青森とかが出てくる。そうなるとうまくできていないんじゃないか。
- ・リンゴはおいしい。シナノゴールドやシナノスイートがある。

バラ園



- ・もっと広めていきたい。
- ・バラ祭りで推している割には、見に来る人も地元の人たちだけ。
- ・やっちはいるが、年々しよぼくなっている。

キノコ



- ・キノコは嫌いな人も多いので、自慢できるようなものでもない。
- ・作っているけど食べない。
- ・あまり興味関心がない。

音楽の地



- ・「シャボン玉」とか「ふるさと」とか有名な歌を作った高野辰之さんと中山晋平さんの出身地だけど、全然知られていない。
- ・一応記念館はあるけど、目立っていない。

そば



- ・信州つけ焼そばは、いろんな店舗でアレンジして出しているところはいいなと思った。水がきれいだから、おそばをはじめとして、食べ物の関係はすごくおいしい。

久石譲の出生地



- ・全然有名ではないので、ジブリ記念館があればいい。

おごっそフェア



- ・もっと広めていきたい。

「中野市」という市名について、どのように感じているか

「中野市」という市名については、「言いやすい」「短くて分かりやすい」点でポジティブな印象があるものの、やはり、中野区(東京)と混同されることについては不便さが感じられている様子。

ポジティブな印象

- スマートな印象
- 言いやすい
- 短くて分かりやすい
- 「長野」と音が似ている

どちらでもない

- 特になんとも思っていない

ネガティブな印象

- 中野区と間違えられる
- 中野区と被っている
- ナビで「中野」と入力すると東京がでてきて不便

「信州中野」という地名について、どのように感じているか
「信州中野」という地名については、『信州』という単語に対するネガティブな印象が強く、違和感を持たれている様子が見られた。

ポジティブな印象

➤ 東京では、長野というより信州と言ったほうが伝わるのでは

- 東京では、長野というより信州と言ったほうが伝わる。軽井沢とかスキーとか、信州とつくだけで、気に留めやすいということがあるのだと思う。

ネガティブな印象

➤ 信州ってどこのことを言うのか分からない
➤ なぜ「長野県」と言わずに信州を乱用するのだろう

- 信州って意味がわからない。前にテレビで見たけど信州というのは地元民が言っているだけで、他の地域から信州と認知されているわけではなく、地元民が信州を推していると聞いた。自分は長野だと思っているのに、何で信州と言っているのかさっぱりわからない。地元民が推しているだけの信州なら、いらぬのではないかな。

➤ なんで「信州」がつくのだろう

- 売りものにも「信州中野」という緑色のマークがついていた。「信州」をつけるのはうーん、みたいな。中野にしちゃえばいいじゃんと思う。
- 使っている人が中野市内でも多いのはすごく感じるけど、中野は中野だし、信州をつけなくても通じるような中野市であってほしいので、そんなに良くは思っていない。

【長野県/信州】地域名への愛着度

県単位の地域名については「信州」に比べ「長野県」のほうが愛着度が高い。「信州」の由来や範囲が明確に分かっていないため、正式名称の「長野県」のほうが愛着を感じられている。

「長野県」「信州」名称への愛着度



(インタビュー参加者の平均点)

【中野市/信州中野】地域名への愛着度

市単位の名称については「信州中野」に比べ「中野市」のほうがやや愛着度が高い。
県単位の名称と同様に、「信州」の由来や範囲が明確に分かっていないことが、違和感に繋がっている様子。

「中野市」「信州中野」名称への愛着度



(インタビュー参加者の平均点)

「中野市」の市名変更について、どう感じるか
市名変更については、『中身が変わらないなら、市名を変える必要がない』との発言が大勢を占める。市名が変わることへの拒否反応ではなく、市名変更の必要性が感じられていないため、このような発言に至ったと推察される。

市名を変えてもいいと思う

市名を変えてほしくない

「信州」の認知度が高いので、変えてもいい

- 「信州中野」は呼びにくい、駅も売り物にも「信州中野」とついているし、市民会館でお笑いライブをやったときに、芸人さんが「えのき氷の信州ってここだったんだ」と言っていたので、東京方面の人にも信州で知られていると考え、「信州中野」に変えたほうがいいんじゃないかなと思う。

中身が変わらないなら、市名を変える必要がない

- 「中野市」に愛着を感じているので、変えてほしくない。市名を変更して観光客が増えれば良かったねとなるけど、何も変わらないのなら、変えてほしくない。
- 中野市を「信州中野」と変えたときに何か変わるわけではないし、見た目だけじゃんと思われるのが自分的に嫌なので、変えてほしくないと思う。
- 他の県の人に「信州中野」と言っても中野の場所が特定できるようなにはならないから、変えたとしてもそんなに大きな変化がなさそうなので、変えなくてもいいのでは。
- 「中野」のほうが言いやすいし、長野県のどこかまで分かるようになるわけではないので、変えなくていい。

市名にはこだわらないが、中身で勝負できる市になってほしい

- 変えてもいいと思うが、市名を変えれば街が変わるというわけではないから、外面より中身で勝負してほしい。

「信州」が「中野」だと誤解されそう

- 長野県全体を「信州」と言うのに、「中野」に「信州」をつけると、勘違いされそう。「信州」が「中野」みたいな。

市名変更に関する経緯、変更する場合のメリット・デメリットについて

インタビュー時の呈示資料

参加者に市名変更をめぐる経緯、「信州中野市」へ市名変更する場合のメリット・デメリットについての資料を呈示した。

市名変更をめぐる意見

中野市の知名度の低さから、市の位置や場所の特定がわずらわしいとの理由で、中野市内の事業者や市内・市外在住者から、市名の変更を望む声が上がっています。

一方、中野市に住んでいる方から、中野市の歴史的、文化的な要素や中野市という地域に愛着を持って暮らしている方がいます。

CONFIDENTIAL

市名を「信州中野市」へ変更する場合のメリット・デメリット

市民の視点	
メリット	<ul style="list-style-type: none">信州は全国で広く通じる (中野市では通じないことも多いが、信州中野市は長野県にある市と伝わる)中野区(東京都)と区別しやすくなる (「中野区」と「中野市」がまぎらわしいとの声がある)
デメリット	<ul style="list-style-type: none">中野市に愛着を感じている長い市名は書くのに面倒、負担感がある住所変更などの手続きが必要となり、経費や労力がかかる

CONFIDENTIAL

市名を「信州中野市」へ変更する場合のメリット・デメリット

事業者の視点	
メリット	<ul style="list-style-type: none">特産物を信州中野産で今後も積極的に販売することができる (産地表記、駅名、インターチェンジ名、市名の表記が統一され、物産を効果的にPRすることができる)長野県にある市と知られ、興味関心を持ち、訪れる人の増加が見込まれる
デメリット	<ul style="list-style-type: none">住所変更などの手続きが必要となり、経費や労力がかかる特産物販売ではない事業者は負担に感じる

CONFIDENTIAL

市名を「信州中野市」へ変更する場合のメリット・デメリット

行政の視点	
メリット	<ul style="list-style-type: none">地理的にイメージされやすい信州なかのブランドの知名度が向上する可能性がある (信州中野を多くの人に知られるPR効果が期待できる)
デメリット	<ul style="list-style-type: none">施設案内看板やシステム改修など経費がかかる新市名の定着に時間と労力がかかる

CONFIDENTIAL

「信州中野市」へ市名変更する場合のメリット・デメリットについて

「信州中野市へ市名変更する場合のメリット・デメリット」に関する資料を呈示したうえで、意見を聴取したところ、『メリット・デメリットについて疑問が残る』『メリットと比べて、デメリットが大きい印象』という意見がほとんど。

どちらでもない

➤ まだ疑問が残っている

- 市名が変わるだけでお金がどのくらいかかるのか。
- 「信州」が中野で使われて訪れる人が増えるのか疑問。
- 「信州中野」というブランド名になったからといって、知名度が向上するのか。

➤ メリットもデメリットもある なら市名はどちらでもいい

➤ 単純に答えが出せない

- 特産物を売っていない人にとっては負担になるし、なんで税金を使われなければいけないのという感じもあるから難しい。

➤ なぜ「信州」を使うのか分からない

- なぜ「信州」という名前なのかは全国の人もわかっていないと思う。「信州中野市」に変更するなら「信州」の意味について理解、把握してもらう必要があるのではないのか。

ネガティブな印象

➤ メリットと比べて、デメリットが大きい印象

- PRをするという観点ではとてもいいと思うが、それにかかる経費や労力のほうが大きいのではないかと思った。
- デメリットのほうが多い印象。メリットは仮説でしかない。
- デメリットがある代わりに、その分でメリットがちゃんとしているのかな。デメリットのほうが多くなると思う。変える意味がなくなってしまうので、メリットにもうちょっと確信があるとありがたい。
- 市や企業から見たらメリットは大きいかもしれないけど、住民的にはデメリットのほうが大きいと感じる。
- 今のままで行くと、圧倒的にデメリットのほうが多いと感じた。変えないほうがいいと思う。
- 全部が可能性の話で、ものごとが淡々とうまく進んでいくわけではないから、その面では心配。
- 食べ物でしか売り出せないということが分かる。「信州中野市」が有名になれば、お取り寄せはしてもらえるかもしれないが、今の中野市に来てもらえる可能性は低いと思う。
- 市名変更は面倒くさい。
- 「信州」を使っているメリットはあまりないと思う。

市の名称を「中野市」、通称名を「信州中野」にする案について

正式名称とは別に通称名を設定する案については、『市名変更ではなく通称名でいいのでは』という肯定的な意見も、『サブ名称の必要性が分からない』や『どちらかに決めてほしい』という否定的な意見も聞かれた。

通称名を作るほうがいい

- **市名変更ではなく通称名でいい**
 - サブの名前で県外の人に少しでも興味関心を持ってもらえるなら、市名変更よりもサブの名前をつけるほうがまだマシだと思う。
 - メリットにも書いてある通り、特産物を「信州中野産」とわかりやすくできるなら、そのほうがいいと思う。

通称名を作らないほうがいい

- **サブ名称の必要性が分からない**
 - サブを作る必要があるのか。
 - サブの名称の使い道が分からない。
- **どちらかに決めてほしい**
 - 中途半端。決めるなら最後まで決めたほうがいいと思う。そっちのほうが住民としても納得が行く。
 - それは今のまま。売っているときに記載があるとかないかい、今のままの平行線が続いていく感じなので、どっちかにしっかり決めてやっていったほうがいいと思う。

中野市の魅力発信と知名度向上を考える 高校生グループインタビュー資料

中野市の知名度の低さから、市の位置や場所の特定がわずらわしいとの理由で、中野市内の事業者や市内・市外在住者から、市名の変更を望む声が上がっています。

一方、中野市に住んでいる方から、中野市の歴史的、文化的な要素や中野市という地域に愛着を持って暮らしている方がいます。

市民の視点

メリット

- **信州は全国で広く通じる**
(中野市では通じないことも多いが、
信州中野市は長野県にある市と伝わる)
- **中野区（東京都）と区別しやすくなる**
(「中野区」と「中野市」がまぎらわしいとの声がある)

デメリット

- **中野市に愛着を感じている**
- **長い市名は書くのに面倒、負担感がある**
- **住所変更などの手続きが必要となり、
経費や労力がかかる**

事業者の視点

メリット

- **特産物を信州中野産で今後も積極的に販売することができる**
(産地表記、駅名、インターチェンジ名、市名の表記が統一され、物産を効果的にPRすることができる)
- **長野県にある市と知られ、興味関心を持ち、訪れる人の増加が見込まれる**

デメリット

- **住所変更などの手続きが必要となり、経費や労力がかかる**
- **特産物販売ではない事業者は負担に感じる**

行政の視点

メリット

- 地理的にイメージされやすい
- 信州なかのブランドの知名度が向上する可能性がある
(信州中野を多くの人に知られるPR効果が期待できる)

デメリット

- 施設案内看板やシステム改修など経費がかかる
- 新市名の定着に時間と労力がかかる